

創業昭和7年 本店下北沢



昭和信用金庫

# 2022 昭和信用金庫の 現況

令和3年度 事業のご報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)



# 大好きな街 応援します

## 昭和信用金庫は89年前

有限責任昭和信用組合として設立されました。

昭和金融恐慌に起因する不況によりやく曙光が差し、  
経済復興が進展し始めていた時期です。

しかし、長年の不況の痛手を受け、資金難にあえぎ、  
復興の波に乗れない多くの中小商工業者がいました。  
当金庫は、地元商工業者がその窮状を脱するため、  
「相互扶助」「共存共栄」を目的とした金融機関として、  
地元の皆さまによって設立されました。

## 日本経済はいま

少子高齢化による人材不足や  
事業承継などの喫緊の問題に加え、  
新型コロナウイルス感染症拡大や  
インフレ懸念が国民生活に  
大きな影を落としています。

昭和信用金庫は職員の  
安全に配慮することを基本に、  
この街と事業者・生活者の  
皆さまを応援しています。

## 当金庫の新型コロナウイルス感染症に対する支援

政府による緊急事態宣言が、令和2年4月、令和3年1月、同年4月、同年7月の4度にわたり発令・解除を繰り返したのち、令和4年3月末時点では、感染症患者数は減傾向にあるといわれていますが新たな変異株の出現により依然として予断を許さぬ状況にあります。

当金庫は、令和2年2月から継続してお客さまの安全安心を第一に、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組むとともに、将来に向けてのお客さまへの支援に緊急かつ即応態勢で臨んでいます。次の項目は、令和3年度の取組みです。

### ●毎月各種個別経営相談会を開催

当相談会は、事業者が抱えているさまざまな経営課題の解決を図るために、毎月第1から第4水曜日にサポートプラザにて開催しています。事前予約制で、面談、もしくはZOOMでのリモートで、売上向上、補助金、経営などのさまざまなご相談に対応します。各種相談会ならびに全店舗の「経営相談窓口」も随時開催しています。

### ●事業者の資金繰りを支援、コロナ関連融資実績

新型コロナウイルス感染拡大以降、その影響を受けた事業者の資金繰りの支援を続けてきました。政府が支援する実質無金利・無担保融資も活用しながら融資を行ってきた結果、今年度の感染症対応関連貸出は837件、金額は111億円となりました。

令和2年度からの累計では延べ3,965件、金額は429億円となっています。

### ●事業再構築補助金申請支援

令和3年度から導入された国の事業再構築補助金について、当金庫は、事業者の補助金申請を支援しました。令和3年度第1回公募から第4回公募までの申請支援先累計83件のうち40件が採択されました。

### ●お客さまアンケートの実施

令和3年度より事業者を対象としたお客さまアンケートを実施しました。令和3年10月20日から12月30日までの間で、計814社の事業者にご回答いただき、新型コロナウイルスの影響や現状の課題や将来展望などについて、その集計結果を取りまとめました。

## 経営理念

昭和信用金庫は、創業の理念である  
「相互扶助」「共存共栄」の精神のもと、

- 第一に、お取引先のご繁栄を願い誠意を尽くします。
- 第二に、地域社会の発展に貢献いたします。
- 第三に、調和のある健全経営を目指します。

## 金庫の基本方針

国民大衆の皆さまから、常に親しまれる金融機関として、  
地域経済の発展に貢献することを念願として、

1. お客さまに親切に利益と繁栄を
2. 健全かつ積極的な経営を
3. 金庫に働くものに明朗な職場と安定した待遇を  
モットーとして業務を推進する。

## 長期経営戦略のビジョン (平成27年度～)

お客さまとのFace to Faceによるリレーションを強化し、経営  
理念の下、顧客の課題解決に向けて情熱を持ち一緒に  
なって考えることができる信用金庫人を長期的に育成し、  
身近な相談相手として寄り添える「地域になくてはならない  
金融機関」を目指す。

## 中期経営計画 (令和3年度～5年度)

「お客さまの役に立つ。」  
～新たな社会環境における  
「変わらぬお客さまとの長期的関係構築」への取り組み～

### 目標

昭和信用金庫は、  
令和3年度から始まる3年間で  
新たな中期経営計画年度とし、  
あらためて「お客さまの役に立つ。」の実現に取り組む。

### 戦略目標

1. 「お客さまの役に立つ」と  
「お客さまとの長期的な関係構築」の実現  
(1) 「お客さまの役に立つ」具体的な活動に取り組む。  
(2) お客さまとの長期的な関係を構築する。  
(3) 「お客さまの役に立つ」態勢を整備する。

### 2. 経営の持続可能性の向上

- (1) 収益の確保と効率性の向上に取り組む。
- (2) 様々なリスクに備える。
- (3) 態勢を整備する。
- (4) 企業市民としての社会的責任を全うする。

## 目次

皆さまへのメッセージ	3
大好きな街応援します	5
▶金融円滑化への取組み	5
▶創業・新事業支援への取組み	6
▶お客さまの経営課題解決の支援	7
▶お客さまとともに	9
▶地域社会とともに/ 働きやすい職場づくり	11
▶あゆみ	12
令和3年度の業績	13
内部管理態勢	15
▶リスク管理	15
▶コンプライアンス(法令等遵守)	16
▶マネー・ローンダリングおよび テロ資金供給等の防止への取組み	16
▶お客さま保護の方針と態勢	17
総代会制度	19
経営組織	21
営業のご案内	23
計数資料	26
開示項目一覧	51
店舗ネットワーク	52

- 本誌は、信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
- 記載している計数は、金額は単位未満を、%は小数点第3位を切捨てて表示しています。

## 昭和信用金庫の概要

創 立：昭和7年12月17日  
純 資 産：256億6,690万円  
出 資 金：12億8,426万円  
会 員 数：22,251名  
本店所在地：世田谷区北沢1丁目38番14号  
預 金：4,579億6,465万円  
貸 出 金：2,071億1,288万円  
店 舗 数：本支店19店舗、店外ATMコーナー2か所  
役職員数：305名  
営 業 地 区：東京都23区、調布市、三鷹市、狛江市、  
国立市、日野市、府中市、稲城市、武蔵野市、  
多摩市、西東京市、小金井市、国分寺市、  
小平市、立川市、東久留米市、  
および神奈川県川崎市多摩区・麻生区

(令和4年3月31日現在)

## はじめに

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆さまにおかれましては、コロナ禍にあり、ご苦勞も多いかと拝察いたしております。

このたび、令和3年度の経営内容や事業活動をご報告する『昭和信用金庫の現況2022』を作成いたしました。是非お読みいただき、当金庫への一層のご理解をいただければ幸甚です。

## 当金庫を取り巻く経営環境

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、回復が遅れています。また、ウクライナ情勢の緊迫化がもたらしたエネルギー価格の高騰、円安の影響を受けた輸入物価の上昇が消費者心理の悪化、企業のコスト上昇につながっています。欧米をはじめとした金融当局は、インフレーションを抑制するため、政策金利の引上げを続けていく見通しであり、景気後退に突入する恐れも出てきています。

翻ってわが国では、日本銀行が強力な金融緩和政策を継続しており、貸出金利の低下要因となっています。経済の下振れによる信用コストの増加も見込まれることから、金融機関の収益状況については、厳しい状況が続くことが想定されています。

当金庫においても、貸出金利が低水準で推移しており、本業である貸出による収益確保を難しくしています。

このような状況下ではありますが、信用金庫は地域経済を支えるインフラとしての役割を担っており、その機能を継続的に発揮していくため、引き続き収益基盤の強化に努めてまいります。

## 令和3年度の業績

令和3年度の業績につきましては、預金残高は4,579億円と前期比114億円増加、貸出金残高は2,071億円と前期比68億円の増加となりました。収益面においては、政府による新型コロナ緊急対策の制度融資による収益の増加、有価証券運用を見直したことによる利息配当金の増加、信用コストの減少に伴い、経常収益は増益となりました。当期純利益については、不動産の売却に伴う一過性の利益が剥落したことにより、減益となりました。

## 中期経営計画を推進

当金庫では、令和3年度から中期経営計画「お客さまの役に立つ。」～新たな社会環境における「変わらぬお客さまとの長期的関係構築」への取組み～を掲げ、地域のお客さまの課題解決に資する活動に取り組んでいます。計画の初年度は、こうした取組みを貸出金や本業による収益の増加といった結果に結びつけることができました。

## 展望

令和4年度は、中期経営計画の2年目を迎えます。コロナ禍の終息が見通せない中、お取引先の皆さまも厳しい状況が続くことが予想され、「お客さまの役に立つ。」活動をさらに加速させてまいります。

また、国際社会においては、「持続可能な開発目標 (SDGs)」への取組みが求められています。当金庫では、創業の理念である「共存共栄」「相互扶助」とも深くかかわりのあるSDGsに賛同し、「昭和信用金庫SDGs宣言」を策定いたしました。地域社会・地域経済の発展に資するとともに、国際社会からの要請に応えるための取組みを行ってまいります。

最後に、昭和信用金庫は、令和4年12月に創立90周年を迎えます。これまで当金庫を支えていただいた地域の皆さまに感謝するとともに、一層地域の皆さまのお役に立つことができるよう取り組んでまいります。



令和4年7月 理事長 **内藤 博**